

シンポジウム参加報告書

草津市議会議長
西村 隆行 様

令和 7 年 2 月 2 0 日
草津市議会 草津維新の会
報告者：田中 詩織

I シンポジウムの概要

1. 日 時 令和 7 年 2 月 1 5 日（水） 1 3 時～1 6 時半
2. 場所 立命館大阪梅田キャンパス
3. 題目 第 7 回議会事務局研究会シンポジウム～設立 1 5 周年記念～
4. テーマ 議会の機能強化と議会事務局の未来
5. 参加者 草津市議会会派 草津維新の会 田中詩織
6. 参加費 5,000 円

II 内容

1. 基調講演 駒林良則氏（議会事務局研究会共同代表・立命館大学特任教授）
2. 話題提供 盛泰子氏（伊万里市議会議員）
「最終報告書に込めた思いと今後の課題」
清水克士氏（前大津市議会局 局長）
「局職員が越えるべき補佐の射程」
岩崎弘宜（前取手市議会事務局 次長）
「終わりのなき議会改革～議会愛は永遠に～」
3. ディスカッション 「議会事務局の目指すべき未来とは？」
パネリスト 盛泰子氏、清水克士氏、岩崎弘宜
コーディネーター 谷畑英吾氏（元湖南市長）
4. まとめ 駒林良則氏

III シンポジウムに参加して

他の市議会の現状や事務局の様々な話はなかなか聞く機会がなく非常に勉強になった。
所感は重要なポイントをまとめ下記に箇条書きとして記す。

■議会事務局の重要性と課題

- ・地方分権改革が進む中で、議会改革が進まない現状への危機感
- ・議会事務局の充実が、議会の監視機能強化や政策立案力向上に不可欠
- ・チーム議会の確立→議員と事務局職員の信頼関係構築の上の協働体制が重要
- ・伴走型で議員と一緒に成長することが理想
- ・議会予算の編成権、執行権を議長に
- ・議長の人事権行使 自地方 138 条 5 項

■ 議会と執行部の関係

- ・ 議会事務局の人事が首長の影響を受ける問題
- ・ 執行部と対等な議論をするためには、事務局職員のスキル向上が必須
- ・ 議会事務局に異動を希望したくなるような事務局の位置付けと在り方

■ 議会改革の進め方

- ・ 一般質問の在り方や議会基本条例の活用
- ・ AI 技術を取り入れた議事録作成や政策立案支援
- ・ 他自治体の成功事例を参考にしながらの改革推進
- ・ 議長任期について
- ・ 議員間討議を活発にするための仕組みづくり→執行部がない中での討議
- ・ 政策検討会議の実施

■ 住民との関係

- ・ 住民とのコミュニケーションを強化し、議会の透明性を高める
- ・ 外部の専門家による議会評価の導入

■ 議会事務局職員のモチベーション

- ・ 政策形成に関与できる仕組みの確立
- ・ 自己成長できる環境の整備

ディスカッションでは具体的な話も多く興味深い話が多かった。それぞれの自治体によって議会はもちろん、議会事務局の在り方や仕事の仕方、議員との関わりもそれぞれである。組織を形成する人がそれぞれ違うわけでそのようになるのも当然だと思うし、今回の議会事務局の議論をするうえで重要なポイントは、まずは議員の質が担保されているかどうかであると思う。議員は常に学び資質向上に努めるべきで、その姿が議会事務局のモチベーションとなるような議員にならなければならないと思うし、お互いに高め合える関係性が理想ではと感じた。

IV 研修の資料等

